

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センターでは、「バイオバンク」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

[研究課題名] HIV-1 感染症に関する研究

[研究対象者] 国立国際医療センターバイオバンクにて検体を保存された方

[利用している検体・診療情報等の項目]

検体：血清、血漿、末梢血単核球（PBMC）

診療情報等：採血検査データ（ウイルス量、生化学データ、血算データ）、服薬の状況など臨床情報

[利用の目的] （遺伝子解析研究：有）

HIV感染者のHIV持続潜伏感染細胞を調べることで、HIV関連疾患の早期診断法、発症予防法および新規治療法の確立を目指しています

[主な共同研究機関及び研究責任者]

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、細胞内のウイルス配列や性状の解析、細胞の遺伝子発現解析、細胞および血清・血漿のDNA/RNA解析のために提供します

[主な提供方法] ☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他（ ）

1. 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター・教授・佐藤賢文
2. 都立駒込病院感染症科・部長・今村顕史
3. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授・橋口照人
4. 鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター・教授・前田賢次
5. 医薬基盤・健康・栄養研究所難病・免疫ゲノム研究センター・プロジェクトリーダー・山本拓也
6. 東京大学大学院新領域創成科学研究科感染症ゲノム腫瘍学分野・准教授・山岸誠

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2028年6月30日までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター臨床研究推進会議の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 治療開発専門職 土屋 亮人

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 土屋 亮人

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9 時～17 時）

作成日：2025 年 10 月 22 日 第 4.0 版